C₂対称フッ素化ヘム再構成ヘムタンパク質の活性部位構造の
¹⁹F NMRによる解析
筑波大院数物¹,長岡高専物質²
○ 古市英資¹,水関和哉¹,太虎林¹,長友重紀¹,山本泰彦¹,鈴木秋弘²

¹⁹F NMR Comparative Study between Human Adult and Fetal Hemoglobins Bearing *C*₂-symmetrically Fluorinated Heme

 ○Eisuke Furuichi¹, Kazuya Mizuseki¹, Hulin Tai¹, Shigenori Nagatomo¹, Yasuhiko Yamamoto¹, and Akihiro Suzuki²
Dept. of Chem., Univ. of Tsukuba¹ and Nagaoka Natl. Coll. of Tech.²

We report here the results from ¹⁹F NMR studies of human adult hemoglobin (Hb A) and human fetal hemoglobin (Hb F) possessing C_2 fluorinated heme. The orientation of axial His F8 imidazole relative to heme in the subunits of Hb A and Hb F has been estimated through the analysis of paramagnetic ¹⁹F NMR shifts. The study suggested a possible difference in the orientation of HisF8 imidazole relative to heme between the α subunits of the two Hbs, indicating that the His F8 imidazole orientation in the α subunit is affected through the subunit interaction.

序論

ヒト成人ヘモグロビン(Hb A, $\alpha_2\beta_2$)、 胎児ヘモグロビン(Hb F, $\alpha_2\gamma_2$)は、共 に四量体構造をもち、各サブユニット にヘムを 1 つずつ含む。ヘム鉄には、 近位ヒスチジン(HisF8)が配位してお り(Fig. 1)、この HisF8 のヘムに対す る配向は His のイミダゾール窒素の p軌道とヘム鉄の d軌道との相互作用 を介して、ヘムの電子構造に影響を及 ぼす。Hb A、Hb F の機能は、ヘムの



Fig. 1. Structure of hemoglobin and coordination of axial His to heme. The Φ angle defines the orientation of axial His imidazole plane with respect to heme.

電子構造やポリペプチドサブユニットの立体構造により調節されている。本研究では、 2 つの CF₃ 基を 側 鎖 に も ち 、 分 子 構 造 が C_2 対 称 で あ る 2,8-DPF (13,17-bis(2-carboxylatoethyl)-(3,7,12,18-tetramethyl-2,8-diperfluoromethylporphyrinatoiron (III))を Hb A および Hb F に組み込み、¹⁹F NMR によりへムの電子 構造やヘムに対する HisF8 の配向角(φ (Fig. 1))を解析した。

結 果・考 察

2,8-DPF 再構成 Hb F (2,8-DPF Hb F)の一連の配位状態(CO 体(Fe²⁺, S=0)、O₂ 体(Fe²⁺, S=0)、CN 体(Fe³⁺, S=1/2)、N₃ 体(Fe³⁺, S=1/2)、Deoxy 体(Fe²⁺, S=2))における ¹⁹F NMR スペクトルでは、不対電子の数の増大に伴い、シグナルのより大きな低磁場シフトが観測された(Fig. 2)。また、2,8-DPF がタンパク質に組み込まれた際には、2つの CF₃基に由来するシグナルの縮退は解けて、分裂する。このシグナルの分裂幅は、主に HisF8 の配位に依存すると考えられることから、シフト値の解析より、ヘムに対する HisF8 の配向角(ϕ (Fig. 1))を見積もることができる。常磁性

Keywords:¹⁹F NMR, ヘムタンパク質, 配位結合, 常磁性シフト, フッ素化ヘム

ふるいち えいすけ,みずせき かずや,たい こりん,ながとも しげのり やまもと やすひこ,すずき あきひろ



Fig. 2. ¹⁹F NMR spectra of 2,8-DPF Hb F in various oxidation, spin, and ligation states of heme iron at 25 °C and pH 7.0.

シフトしたシグナルのシフト値(δ_{obs})は、反磁性シ フト(δ_{dia})と常磁性シフト (δ_{para})の和として表さ れる。ここで、 CF_3 のシグナルの δ_{para} では、コン タクトシフト(δ_{con})の寄与が支配的である。したが って、ミオグロビン(Mb)、HbFのCN 体における シグナルの分裂に寄与する δ_{dia} と δ_{con} のうち、 δ $_{dia}$ の寄与が CO 体での値と等しいと仮定すれば、 δ $_{\rm con}$ の寄与は($\delta_{\rm obs} - \delta_{\rm dia}$)で求めることができる。Fig. 3 に示した 2,8-DPF Hb A および Hb F の CN⁻体の ¹⁹F NMR スペクトルの化学シフト(δ_{obs})からそれ ぞれのタンパク質での2-CF3と8-CF3に由来するシ グナルの δ_{con} の差 ($\Delta \delta_{con}$)を計算し、天然型の Hb A CN 体のX線結晶構造解析より求めた Φの値を理 論式 (*Δ δ* con = *A* cos2 *Φ*+ *B* 、*A*, *B* は定数)でフィッ ティングすることにより、関係式 $\Delta \delta_{\rm con} =$ 7.9 cos2 *Φ* + 3.7 を得た。なお、解析の際は、天然 の Mb、Hb A の CN 配位型の X 線結晶構造解析で 示された Φ値が 2,8-DPF Hb A でも保持されている と仮定した。また、シグナル帰属は、HbAとHbF で共通するαサブユニット由来のシグナルのシフト 値はお互いに類似しているとの予想に基づいて暫定 的に行った。また、2,8-DPF Hb F のシグナルのシ フト値と得られた関係式より、2,8-DPF Hb Fの CN-体における HisF8 イミダゾール配向角を求めたと ころ(Fig.4)、 α サブユニット(Φ =14.9°)、 γ サブ ユニット(ϕ =17.3°)が得られ、HbACN体の α サ ブユニット(ϕ =15.5°)、βサブユニット (ϕ =19.5°)とは異なることが示唆された。



Fig. 3. ¹⁹F NMR spectra of CN⁻ forms of Hb F(2,8-DPF) and Hb A (2,8-DPF) at 25 °C and pH 7.0. The signal assignments are given with the spectra.



Fig. 4. Plots of $\Delta \delta_{\rm con}$ against Φ for Mb(2,8-DPF), Hb A(2,8-DPF), and Hb F(2,8-DPF). $\Delta \delta_{\rm con}$ is the difference in the $\delta_{\rm con}$ contribution between 2-CF₃ and 8-CF₃ signals. In the cases of the 2-CF₃ and 8-CF₃ signals, since $\delta_{\rm con}$ dominates in $\delta_{\rm para}$, $\delta_{\rm con}$ can be calculated by the equation $\delta_{\rm con} = \delta_{\rm obs} - \delta_{\rm dia}$. The Φ values reported for the X-ray crystal atructures of native proteins, i.e., $\Phi = 3.0$ for Mb (PDB:2JHO), and $\Phi = 15.5$ for α subunit and $\Phi = 19.5$ for β one of Hb A (PDB:1011), have been used for the plots.

結論

Hb A と Hb F で共通する α サブユニットのヘムの電子構造の比較から、ヘムに対 する HisF8 の配向がそれぞれの α サブユニットで異なることが示唆された。したが って、Hb A における α サブユニットと β サブユニット、Hb F における α サブユニッ トと γ サブユニットそれぞれのサブユニット間相互作用は異なると考えられる。